

後援会ニュース

5.

2025年10月号（部内資料）

発行 日本共産党かすみがうら市後援会

〒315-0053 かすみがうら市稲吉東 4-5-18

TEL029(834)7366 FAX 029(834)7367

2025年後援会総会開催

9月13日（土）霞ヶ浦コミュニティーセンターで、日本共産党かすみがうら市後援会総会を行いました。衆参の国政選挙が続いた一年間の活動報告、今年度の活動方針、世話を確認して第二部は日本共産党江尻かな県議が県政報告を行いました。

江尻県議のお話は、「儲かる県政」でトップセールス、大企業優遇の大井川県政について明快でとてもわかりやすく大変勉強になりました。



江尻かな県議の
県政フレットから

〈大型開発〉

過大な水計画の霞ヶ浦導水事業は、那珂川～霞ヶ浦～利根川の間を地下トンネルで結び、それぞれの水を往来させ「霞ヶ浦の浄化」「都市用水の確保」を目的にしていますが、着工から40年、事業費の8割を使ってトンネル工事は4割の進捗率。玉里地域ではトンネル工事の影響で地盤沈下が起きている。

大井川県政は、国言いでさらなる工事費の増額は必至



【2025年活動方針】

1. 後援会員の交流、親睦を図る企画を計画する
2. つどいや学習会を開き、日本共産党への理解、支持を広げていく
3. 後援会ニュースの内容を豊かにして、特に次世代に広げていく
4. 市民アンケートの実施、地域の困りごと、相談など市民の要求実現に力を尽くす



後援会長の挨拶

去年10月に石破内閣が発足し、直後に総選挙、今年7月に参議院選と国政選挙が続きました。その結果衆議院に続き参議員でも自民公明が少数与党となりました。

ところが肝心の立役者である共産党も連続後退となったのは非常に残念なところですが。後退の主な原因としては、共産党の活動量が落ちていることだと考えられます。組織はあっても高齢化してしまい若い世代に広がっていかないのが実情のようです。

共産党を支え応援する後援会としては、活動をより活発にしていける必要があります。

そして、かすみがうら市後援会ニュースをもっと広げていけるよう皆様のご協力をよろしくお願いします。

さて、かすみがうら市については、期待されていた神立病院の移設が中止になり非常に残念なことになっています。広大な高い土地が無駄にならないように市民のために役立つことに使ってほしいと思います。

市長選挙は、来年7月ですが、早く図書館や複合交流施設を具体化しないと街づくりの目玉政策がなくなるのではと危惧しています。佐藤市議がしっかりチェックし、奮闘中です。みんなで応援していきましょう。

佐藤議員から9月議会で、高齢者の補聴器購入に対して一万円の補助制度が実現との報告があり、参加者から増額を求めるべきとの意見が出て後援会として要望書をだすことを決定しました。